

令和3年度 第1回 高槻市中心市街地活性化協議会 会議録

日 時：令和3年10月27日（水）～11月10日（水）
場 所：書面開催
事 務 局：高槻商工会議所、高槻都市開発株式会社
市担当課：高槻市産業振興課

令和3年度中心市街地活性化協議会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面にて開催された。議題は以下のとおりである。

（議題）

1. 令和2年度高槻市中心市街地活性化基本計画記載事業の進捗について
2. 中心市街地活性化事業の実施について
3. 高槻市中心市街地活性化基本計画の変更認定について
4. 高槻市中心市街地活性化基本計画の変更予定について

協議会構成員 26 名に上記にかかる資料を送付し、以下のとおり 7 名から意見をいただいた。

（意見）

1. ①「たかつきアート博覧会活性化検討業務」を実施した結果について、計画にどのように反映するのか。

高槻市：中心市街地活性化基本計画終了後の総括において反映いたします。

②計画事業進捗について、ハード事業の進捗率はわかるが、ソフト事業の進捗率はどのような根拠としているのか。

例えば、7-11創業塾 目標を12件の出店としているが、10名が創業、うち3店舗が中心市街地に出店とあり、67%の根拠はどこからきているのか。

高槻市：当該事業における進捗率につきまして、積算根拠は以下のとおりになります。

年間30名の受講者を予定しており、例年の実績から、飲食・サービス業や小売業の開業件数を初年度を2件(※)、2年目以降を過去の実績等から2件/年×5年=10件と想定し、計12件の出店を支援する。

平成29年から令和2年度における中心市街地に出店件数8件

$8件 \div 12件 = 0.666\dots \approx 67\%$

※初年度は年度途中からの実施となる。

2. JR 高槻駅南地区のまちづくりの方向性等検討会の発足について

JR 高槻駅南地区のまちづくり協議会は去る 7 月 27 日に発足し、また、規約第 8 条第 3 項に基づき本検討会を設置した。

JR 高槻駅南地区は昭和 54 年に高槻市施行によって再開発事業が実施されたが、以降約 40 年が経過し、再開発ビルの設備等の老朽化が進んできた。本市の発展や社会情勢の変化によって、駅前の都市機能等においてニーズとの乖離がみられるのではないかと懸念されている。そうした中でグリーンプラザ 1 号館、大丸松坂屋、3 号館の 3 社の合同で平成 28 年の 11 月に高槻駅南地区の今後のあり方に関する検討会を設置した。以降今日まで 5 年にわたり、検討を進めてきた。本地区においては権利者自らが主導する形で、再開発事業という手法を用い新しいまちづくりをしてはどうかとの方向性が出された。そして、今後より掘り下げた検討を行うに際し、従来の検討体制では問題があったことを踏まえ、JR 高槻駅南地区まちづくり協議会を設置した。従来の 3 者の検討会は任意で出席し、検討を進めてきたが、今回の協議会については、権利者それぞれの意思によって加盟し、より掘り下げた検討をしていこうとなった。こうした経緯で 7 月 27 日の設立総会後に臨時で開かれた理事会において本検討会を設置する手続きがなされた。資料 2 について、あくまで予定ではあるが、年度内に 3 回開催するスケジュールを考えている。

3. 高槻市駅南側地域の活性化が北地域に比べ、進んでおりません。当商店街は、3 年前に商店街区域を京阪バス通り（高槻市駅から枚方市駅へのルート）のみの「線」から阪急京都線と国道 171 号線の間「面」に区域を広げました。これからは線の時代ではなく、面ととらえる時代と考え、総会にて議決しました。

商店街を面としてとらえ、阪急高槻市駅南側を活性化する為に、市において商店街らしい街路灯を高槻市中心市街地活性化事業として設置していただけないでしょうか。又、カラー舗装の増設をお願い申し上げます。

当会が後援しております TAKATSUKI 唄まき station を引き続きお願い申し上げます。

4. 中心市街地の活性化については、昭和 54 年の松坂屋並びにグリーンプラザの 1~3 号館、その前には市役所の移転（昭和 45 年）、現阪急阪神百貨店（旧西武百貨店）（昭和 49 年）、アルプラザ（2004 年）、関西大学（2010 年）と見てきました。順調に整備が進んでいると思います。今後は JR 南口から阪急北口にかけての中心部の活性化が求められています。未来の高槻のためにも、中心市街地に積極的な投資をお願いします。

これからは潤いのある街が求められています。居心地の良い空間づくりが街づくりの要だと思います。

5. ①中心市街地活性化基本計画について

- ・高槻の利便性（交通機関：JR、阪急電鉄）を訴求する。
- ・高槻北部（山間地域）の活用（スケートボードの練習場・ウィンタースポーツ等）で若者を中心としたスポーツ文化の育成

- ・JR・阪急等の駅前歩行者天国（週末）導入による駅前集客活性化
- ・市民参加型のイベント等の開催

②中心市街地活性化事業の実施について

- ・若手の育成を中心とした芸術・文化全般の育成及びイベント等の会場提供（無料）
- ・若者（学生等）・シニア世代を活性化事業等に参加してもらい、意見・提言等の場を定期的に開催。
- ・高槻の南北を巡回する（乗り換え無し）イベントバスの不定期シャトル運行。
- ・タクシーを利用（乗合等を含む）して、様々なイベント開催場所への割引運行。
- ・西国街道の歴史的意義の発見及び啓発イベント等の開催。
- ・バリアフリー化（飲食店・イベント等の会場）の更なる推進。
- ・市街地だけでなく、周辺地域も取り残さない活性化を図る。

6. 弊社コミュニティチャンネル等を通じ、高槻市の市街地活性に尽力をさせて戴きますので宜しくお願い致します。

7. 各々の事業が着々と進捗しており、高槻市の元気を感じます。特に安満遺跡公園の存在と今後の役割や可能性は大きいと思います。
市民への公園本来の目的として活用を願っています。